令和８年度　第２回佐久間分校学校運営協議会　議事録

１　日　時　令和８年 10 月１日（木）午後０時 45 分から午後２時 45 分

２　場　所　静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校　応接室

３　出席者　委員（敬称略）　山桐久次、坪井俊介、大見拳也

学校 新井淳一校長、橋本徳一副校長、竹内寿次教頭

４　内　容

【開会】

（１）中高交流会見学（～午後１時 30 分）

水窪中学校、佐久間中学校、佐久間分校の３校が参加して行っている中高交流会の、スポーツレクリエーション「ペタボード」を見学した。

（２）議事　会議成立　委員３/４出席

校長挨拶

本日実施している中高交流会について、生徒が楽しみながら参加できる行事となるよう、今後も内容の充実を図っていきたい。また、こうした交流事業を通じて、生徒同士の交流を深めるとともに、佐久間分校や地域の魅力を広く発信していきたい。

ア　佐久間分校の近況報告

《委員質問・意見》

・小規模校で学習したいニーズがあり、小規模校への関心は高まりつつあると感じている。地域みらい留学、大阪、東京フェスでの状況はどうであったか。

（事務局）女子生徒が多かったことと、２年生の参加が多かったことが特徴であった。下宿場所の確保について、浜松市に尽力いただいている。当日も、ブース来場者に下宿場所等の説明をしていただいた。

・成績状況について、少人数のため、年度によるばらつきはある程度仕方ないと思うが、もう少し過去のデータも確認し、年度ごとの推移を比較したい。

（事務局）昨年度から５段階で評価しているため、過去との比較は難しい。例年、地元生が多数を占め、外部からは少数であったが、昨年度初めて、外部生が地元生を上回った。これらの生徒構成の変化がどのように影響を与えるのかについて、今後見極めていきたい。

イ　R８年度　地域総合類型の取組

《委員質問・意見》

・地域総合類型において、JR 東海、J-POWER 等地元企業との連携は、高校生のみではできないことも可能になり重要である。単年度ではなく複数年で連携することで、企業にもノウハウが蓄積し継続して連携できる。地元企業との連携を地域の財産として残してもらいたい。

（事務局）テーマによって連携の在り方は様々であると思うが、継続して取り組みたいと考えている。

生徒主体の取組　制服アンケートについて

《委員質問・意見》

・中学生は雨の日はジャージで登校している。短パンの導入など登下校に対応した制服もあってよいと思う。また、ジェンダーに配慮する必要がある。制服の変更は、入学者募集の起爆剤になると思うが、業者との調整等、課題も多い。

・大人もクールビズで過ごす傾向があるので、変更するなら快適さや着心地を優先したい。制服を考えることをきっかけに学校のアイデンティティを考えることにもつながり意義がある。定期的に検討することは良いことであると思う。
・すべてを変更するという大きな決断をする前に、まずは一部を試行し、その結果を踏まえて全面的な変更を検討する方法もよいと思う。例えば、試行的に１日短パンで通学することなどが考えられる。
・制服変更について、今後の見通しはどうであるか。
（事務局）先月の職員会議において、制服検討委員会を立ち上げた。今後は生徒会に提案し、制服についてどのようにしたいのか、生徒の意見を確認していきたい。教員が決めるのではなく、「生徒が佐久間分校の未来のために決める」という考えのもと、生徒主体で検討を進めていきたい。

（３）その他
《委員質問・意見》
今回の中高交流会について、マスコミ等の取材はあるのか。
（事務局）本日も取材がある。昨年度と比較すると取材件数は少ないが、「広報はままつ」への掲載など、新たな広報の機会もある。
【閉会】